

R 2 宮 繕

鳴門総合運動公園 鳴・撫養

屋外トイレ解体工事

図面番号	図面名	図面番号	図面名	図面番号	図面名
D-01	解体特記仕様書 1	E-01	屋外配線図	M-01	屋外排水設備撤去図
D-02	解体特記仕様書 2	E-02	電灯コンセント撤去図	M-02	管設備撤去平面図
D-03	附近見取図・配置図			M-03	浄化槽詳細図
D-04	仮設計画図				
D-05	敷地整地図				
D-06	仕上表・平面図				
D-07	立面図・断面図				
D-08	展開図・屋根伏図・建具表				
D-09	梁伏図・配筋図				

課長	副課長	課長補佐	主査	係長	課員	担当

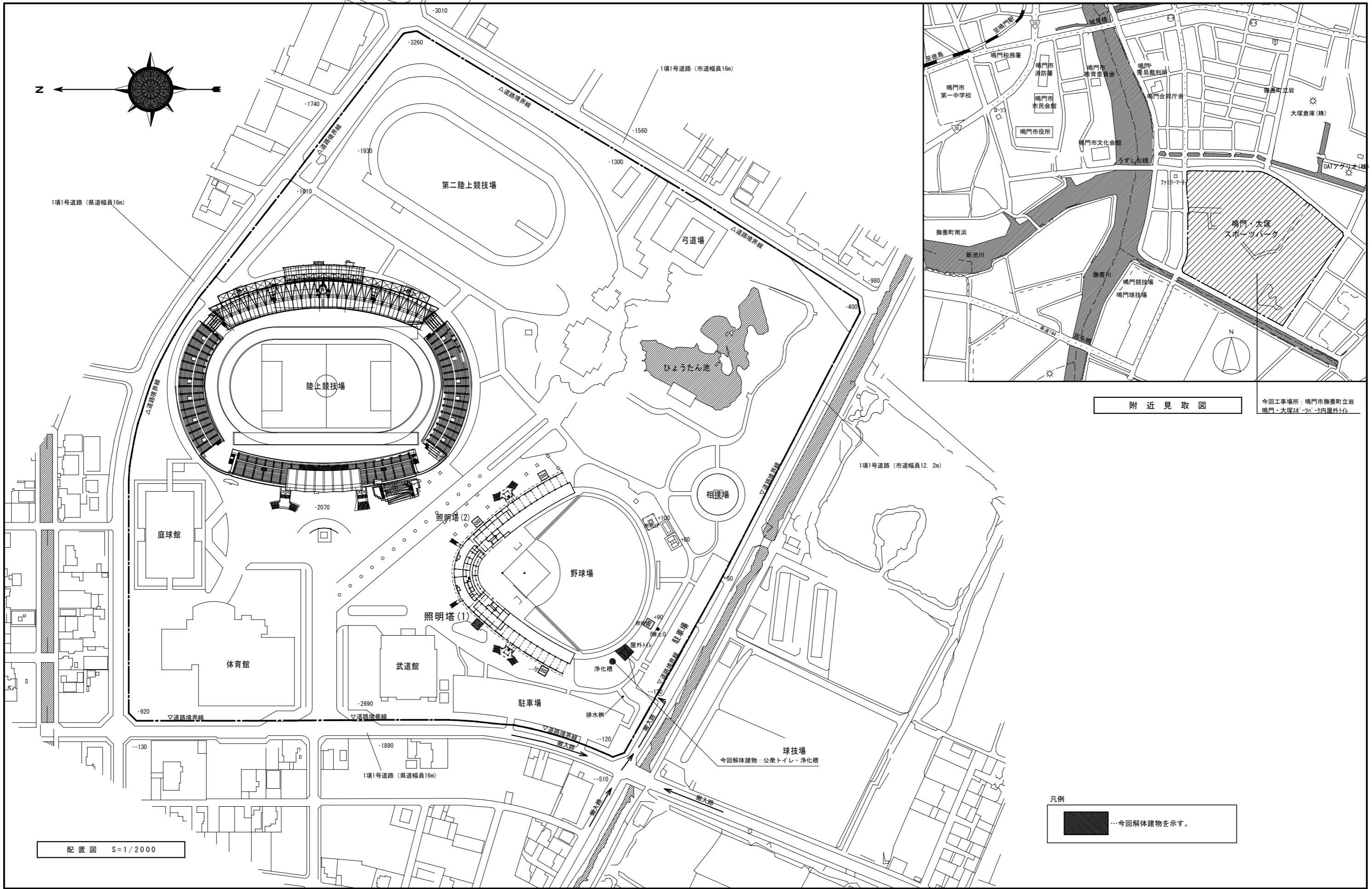
I . 工 事 概 要		項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項	
1. 工事名称	R 2 宮繕 鳴門総合運動公園 鳴・撫養 屋外トイレ解体工事								
2. 工事場所	鳴門市撫養町								
3. 工事概要	A. 建物取り壊し（建築・電気・機械）								
	番号 名 称 構 造 階 数 床 面 積 (㎡) 備 考								
	1 屋外トイレ (2棟)	R C造	1	42.00	設備など含む建物全て				
	B. 外構取り壊し ・浄化槽撤去、土間〇撤去、側溝撤去、わんぷー一部撤去・一部は残す（図示）								
	C. 整地工事 ・解体後、埋戻し整地（浄化槽跡含む）								
	D. 騒音振動調査								
4. 工 期	工事完成年月日は 令和 3 年 3 月 2 0 日とする。 ※完成年月日＝発注者側の工期の完成日 竣工年月日＝施工者側の完成日								

II . 解 体 工 事 仕 様 書		項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項															
1 章 解 体 一 般 共 通 事 項	1. 適用基準等	<p>◎図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて建設(国土交通省)大臣官房官庁営繕部監修の下記による。</p> <p>①公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 平成31年度版(以下「改修仕」という。)</p> <p>②公共建築改修工事標準仕様書(電気工事編) 平成31年度版</p> <p>③公共建築改修工事標準仕様書(機械工事編) 平成31年度版</p> <p>④建築物解体工事共通仕様書 平成31年度版(以下「解体共通仕様書」という。)</p> <p>◎受注者は、本工事の一部を下請に付する場合には、徳島県内に主たる営業所を有するものの中から優先して選定するように努めなければならない。</p> <p>◎設計図書は優先順位は、次の順とする。</p> <p>(1) 質問回答書(2)から(5)に対するもの)</p> <p>(2) 補足説明書</p> <p>(3) 特記仕様書</p> <p>(4) 図面</p> <p>(5) 国土交通省大臣官房営繕部監修建築物解体工事共通仕様書(平成24年版)(以下「解体共通仕様書」という。)</p>																					
	2. 施工条件	<p>◎本工事で使用する建設機械は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定(国土交通省告示 平成13年4月9日改正)」に基づき指定された建設機械を使用するものとする。</p> <p>現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の全景及び型番等、同規程 に基づき指定された建設機械であることが分かる写真を監督員に提出するものとする。</p> <p>ただし、同規程に記載されていない機種、規格の建設機械により施工する場合はこの限りでない。</p> <p>なお、同規程に基づき指定された建設機械を現場に供給するのが著しく困難な場合は、監督員と協議する。</p> <p>ただし、騒音規制法、徳島公害防止条例等の関係法令を遵守するものとする。</p> <p>◎本工事に使用する土工機械は、「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3.10.8 建設省経機発第249号最終改正 平成14.4.1 国総施第225号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械とする。ただし、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又はこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明により評価された排出ガス浄化装置を装着することで排出ガス対策型建設機械と同等とみなすが、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の全景及び型番等が分かる写真を監督員に提出するものとする。</p> <p>◎本工事で使用する建設機械(労働安全衛生法により特定自主検査が義務づけられている建設機械)は、1年以内毎に1回特定自主検査を実施済みの機械を使用し、その検査証明書(検査記録表)のコピーを使用工種の施工計画書に添付し提出すること。</p> <p>◎交通誘導警備員については、警備業法に基づく警備員とし、図示する場所に 3 日間配置すること。</p> <p>・本工事は、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号により規定された交通誘導警備業務を行う場所に一級又は二級の検定合格警備員の配置が(義務付けられている・義務付けられていない)。</p> <p>・警備員は、延3人(昼3人、夜0人;うち検定合格警備員0人)を見込んでいる。</p> <p>・警備業法を遵守するとともに、受注者は交通誘導警備員の配置計画書及び合格証明書の写し等資格要件の確認ができる資料を事前に監督員へ提出すること。</p> <p>・配置された検定合格警備員は、業務に従事している間は合格証明書を携帯し、かつ、監督員等の請求があるときは、これを提示すること。</p> <p>・受注者は、発注者が行う交通誘導警備員勤務実績調査の実施に協力しなければならない。また、対象工事の一部について下請負契約を締結する場合は、当該下請負工事の受注者(当該下請負工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。)も同様の義務を負う旨を定めなければならない。</p> <p>・受注者は、「交通誘導警備員勤務実績報告書」を作成し、勤務実績が確認できる資料(勤務伝票の写し)とともに、1月毎に監督員へ1部提出しなければならない。</p> <p>◎受注者は、本工事の一部を下請に付する場合には、徳島県内に主たる営業所を有するものの中から優先して選定するように努めなければならない。なお、請負対象額(設計金額)が1億円以上の工事については、徳島県内に主たる営業所を有するもの以外と下請契約する場合には、県内業者を選定しない理由を記した理由書を事前に監督員に提出しなければならない。</p>																					
	3. 工事関係図書	<p>◎施工に先立ち、実施工程表、工事の総合計画をまとめた総合施工計画書及び工種別施工計画書を作成し、監督員に提出すること。</p> <p>◎上記の施工計画書には、「地下埋設物等の近接作業に関する事項」を設けること。</p> <p>◎施工図、現寸図、見本等は、監督員の指示により速やかに監督員に提出すること。</p>																					
	4. 安全衛生管理	<p>◎工事関係図書及び監督員から指示された事項等については、施工に携わる下請負人にも十分周知徹底すること。</p> <p>◎工事現場における現場代理人、監理技術者、主任技術者の確認のため名札を着用すること。</p> <p>名札には現場代理人、監理技術者、主任技術者の別、氏名、会社名、工事名が記載し、顔写真を添付すること。</p> <p>◎工事現場の安全衛生管理については、労働安全衛生法等関係法令等に従って行うこと。</p> <p>◎工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、建築基準法、労働安全衛生法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、建設工事公衆災害防止対策要綱(平成5年1月12日 建設省建経発第1号)、建設副産物適正処理推進要綱(平成5年1月12日 建設省建経発第3号)その他関係法令に従い適切に処理すること。</p> <p>◎受注者は、工事の施工箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物について工事(仮囲い等仮設設置を含む)着手までに調査を行い、「支障物件確認書」を監督員に提出し、監督員の確認を受けてから工事着手すること。</p>																					
	5. 工事現場管理	<p>◎工事現場には、営繕課指定の工事標識を監督員の指示に従って見やすい場所に設けること。工事標識については、原則として徳島県産木材を用いた木製品を使用するものとする。また、県産木材の取扱については、</p> <p>「10. 工事用資材」◎県産木材の使用」を準用する。</p> <p>◎受注者は、本工事において使用する工事看板・バリケード等については、県産木材を用いた木製品を優先して使用するよう努めなければならない。県産木材を使用した場合、受注者は、工事完了後「木材使用実績報告書」(電子データ)を監督員へ提出しなければならない。</p> <p>◎電気保安技術者は次の者とし、必要な資格又は同等の知識及び経験を証明する資料により、監督員の承諾を受けること。</p> <p>・事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者又はこれと同等の知識及び経験を有する者とする。</p> <p>・一般用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第1種又は第2種電気工事士の資格を有する者とする。</p> <p>◎工事に影響のある範囲内の重要備品等 (有・無)</p> <p>備品等名称： 保管場所： 注意事項：</p>																					
	6. 施工	<p>◎工事現場監督員は常駐できないので、疑問な点、その他打合せ決定を要する事項は、監督員の出向いた時、又は営繕課へ問い合わせ、工事に遺漏のないようにすること。</p> <p>◎受注者は、工事期間中安全巡視を行い、工事区域及びその周辺の監視あるいは連絡を行い安全を確認するとともに工事現場における盗難防止の観点から、資機材の保管状況等についても併せて確認すること。</p> <p>また、監督員から「資機材保管計画書」(自由様式)の提出を求められた場合には、速やかに提出すること。</p> <p>◎施工にあたっては、設計図書に従って忠実に施工すること。不都合な工法等を発見した場合は、工事が進行済みであっても根本的な手直しを命ずるので、注意して施工すること。手直し工事は、受注者の責任において実施し、それに要する費用は受注者の負担とする。</p>																					
	7. 技能士の適用	<p>◎技能士の適用については、次の技能検定作業(以下、「作業」という。)のうち各工事に適用する作業を指定するものとする。</p> <p>技能士は、職業能力開発促進法による一級技能士又は二級技能士の資格を有する者とし、資格を証明する資料を監督員に提出すること。</p> <p>技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。技能士は、氏名、検定職種、技能士番号等が指定した内容を記載した名札等により、資格を明示するものとする。</p> <p>なお、指定のない作業についてもその活用を図るよう努めることとする。</p> <p>○印・・・適用作業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種目</th> <th>技能検定職種</th> <th>技 能 検 定 作 業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設</td> <td>とび</td> <td>・ とび作業</td> </tr> </tbody> </table>								工事種目	技能検定職種	技 能 検 定 作 業	仮設	とび	・ とび作業								
	工事種目	技能検定職種	技 能 検 定 作 業																				
	仮設	とび	・ とび作業																				
	8. 周辺家屋等の対応	<p>◎本工事に先駆け、県において周辺家屋等の事前調査を実施していますので、調査報告書を参考にして、今後の工事を実施すること。</p> <p>◎工事に関連して、周辺住民から苦情がある場合は、十分調査を行い、監督員に報告、協議して対応すること。</p>																					
9. 実施工程表、施工計画書等	<p>◎施工に先立ち、実施工程表、工事の総合仮設計画をまとめた施工計画書及び工種別施工計画書を作成し、監督員に提出すること。</p> <p>◎上記の施工計画書には、「地下埋設物等の近接作業に関する事項」を設けること。</p>																						
10. 記録	<p>◎電子納品：対象</p> <p>◎提出書類</p> <p>・竣工図(製本3部、電子データ2部)(A4・A3・A2・A1(仮))</p> <p>・工事写真(写真帳1部(○)・写真前○)竣工)・電子データ2部)</p> <p>・使用材料一覧表(4部(うち3部は竣工図表紙裏面に貼付)、電子データ2部)</p> <p>・保全に関する資料</p> <p>◎竣工図は関係図面(データ貸与)を修正して作成すること。</p> <p>竣工図データは、関係図面(データ貸与)を修正して作成し、PDF形式、SFC形式及びオリジナル形式を00-Rに保存する。</p> <p>◎工事写真の電子データはしゅん工、着工前、資材、施工状況の順に整理する。</p> <p>しゅん工写真については、工事目的物の状態が、資材、施工状況等については、不可視不文の出来形が写真で明確に確認できること。</p> <p>◎工事写真の撮影は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領」によること。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>サ イ ズ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>着 工 前</td> <td>カラー、手札版又はサービスサイズ</td> </tr> <tr> <td>工 事 中</td> <td>カラー、手札版又はサービスサイズ</td> </tr> <tr> <td>竣 工</td> <td>カラー、手札版又はサービスサイズ</td> </tr> </tbody> </table>								区 分	サ イ ズ	着 工 前	カラー、手札版又はサービスサイズ	工 事 中	カラー、手札版又はサービスサイズ	竣 工	カラー、手札版又はサービスサイズ							
区 分	サ イ ズ																						
着 工 前	カラー、手札版又はサービスサイズ																						
工 事 中	カラー、手札版又はサービスサイズ																						
竣 工	カラー、手札版又はサービスサイズ																						
11. 工事用資材	<p>◎受注者は、本工事で使用する建築材料・製品等(以下「建材等」という)の発注の際には、発注前に、「生コンクリート使用承諾願」、「材料使用承諾願」、「木材使用承諾願」を監督員へ提出しなければならない。</p> <p>◎受注者は、工事完了後、請負金額が500万円以上の工事において、「木材使用実績報告書」(電子データ)、「建設資材使用実績報告書」(電子データ)を監督員に提出しなければならない。</p> <p>◎県産木材の使用</p> <p>(1) 受注者は、工事目的物及び指定仮設で木材を使用する場合並びにコンクリート打設用型枠を使用する場合、原則として県産木材を使用しなければならない。ただし、特段の理由がある場合にはこの限りでない。</p> <p>(2) 「県産木材」とは、「徳島県内の森林で育成した木材」のことであり、「徳島県内の森林で育成した木材」とは次のことである。</p> <p>① 徳島県木材認証制度により、県内産であることが「産地認証」された木材</p> <p>② ①以外において、徳島県内の森林で育成したことが確認された木材</p> <p>(3) 受注者は、請負金額が500万円以上の工事において、県産木材以外の木材を使用する場合は、県産木材を使用できない理由を記載した書面及び確認資料を事前に監督員に提出し、承諾を得なければならない。</p> <p>(4) 受注者は、県産木材を使用する前に、徳島県木材認証機構から発行される「産地認証」証明書の写しにより県産木材であることを示す書類を監督員へ提出しなければならない。</p> <p>(5) 県内の森林から直接調達するなど、前項により難しい場合は木材調達先の産地及び相手の氏名等を記入した書類を監督員へ提出しなければならない。</p> <p>◎製材等(製材、集成材、合板、単板積層材)、フローリング、再生木質ボード(パーティクルボード、繊維板、木質系セメント板)については、合法性に係る確認(「産地認証」及び「品質認証」を含む。)が行われたものを使用する。ただし、機能上、需給上など正当な理由により確保が困難であり、使用できない場合には監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。また、それらの木質又は紙の原料となる原木についての合法性に係る確認は、林野庁作成の「木材・木質製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン(平成18年2月15日)」に準拠して行うものとし、監督員に合法証明書を提出するものとする。ただし、平成18年4月1日より前に伐採業者が加工・流通業者等と契約を締結している原木に係る合法性の確認については、平成18年4月1日の時点で原料・製品等を保管している者が証明書に平成18年4月1日より前に契約を締結していることを記載した場合には、上記ガイドラインに定める合法な木材であることの証明は不要とする。</p> <p>◎県内産資材の使用</p> <p>(1) 受注者は、木材以外の建設資材を使用する工事を施工する場合、原則として県内産資材を使用しなければならない。ただし、特段の理由がある場合はこの限りでない。なお、WTO対象工事については、県内産資材を優先して使用するよう努めるものとする。</p> <p>(2) 受注者は、請負金額が500万円以上の工事について、県内産資材以外の資材を使用する場合は、県内産資材を使用できない理由を記載した書面及び確認資料を事前に監督員に提出し、承諾を得なければならない。</p> <p>(3) 受注者は、工事完了後、請負金額が500万円以上の工事において、「建設資材使用実績報告書」を監督員に提出しなければならない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>県内産資材(次のいずれかに該当するもの)</p> <p>① 材料の主な部分を県内産出の原材料を使用している製品</p> <p>② 徳島県内の工場で加工、製造された製品</p> <p>注1 部材、部品が県外製品であっても、県内の工場で加工、製造した製品(二次製品)であれば県内産資材として取り扱う。</p> <p>注2 県内企業が県外に立地した工場(自社工場)で加工、製造した製品も県内産資材として取り扱う。</p> <p>注3 公共建築工事標準仕様書その関連する示方書等の基準を満たす資材、製品であること。</p> </div>																						
12. 設計変更箇所確認	<p>◎県内産再生砕石の原則使用</p> <p>受注者は、再生砕石を使用する場合、県内の再資源化施設(廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第15条第1項に基づく許可を有する施設(同法第15条の2の5第1項に基づく変更の許可において同じ。))で製造された再生砕石を原則として使用しなければならない。</p> <p>◎受注者は、徳島県内に主たる営業所を有する者から調達した建材等(県内企業調達建材等)を優先して使用するよう努めなければならない。なお、県内企業調達建材等以外を使用する場合は、県内企業調達建材等を使用しない理由を記載した理由書を監督員に提出しなければならない。</p> <p>◎工事しゅん工前に全ての設計変更箇所について、監督員とともに、書面により確認すること</p>																						
13. 工事検査及び技術検査	<p>◎設計図書(各施工計画書を含む)に定められた工程が完了した時、報告書を提出し、監督員の検査等を受け、承諾を受けて次の工程に進むこと。</p> <p>◎試験等によらなければ、確認できない工事(製品)については、試験等計画書(施工計画書に記載)を提出し、監督員の承諾を受け試験を行い、その結果を報告し承諾を得ること。</p> <p>◎次表により中間検査の対象工事となった場合は、原則として次表の実施回数以上の中間検査を実施するものとする。ただし、工事検査員が認める場合は、一般入札工事に限り、これによらないことができる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>当初請負対象額</th> <th>一般入札工事</th> <th>低入札工事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3千万円未満</td> <td>—</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>3千万円以上5千万円未満</td> <td>—</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>5千万円以上1億円未満</td> <td>1回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>1億円以上</td> <td>2回</td> <td>3回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 低入札工事とは、低入札価格調査工事の調査基準価格を下回って落札した工事をいう。一般入札工事とは、低入札工事以外の工事をいう。</p> <p>◎中間検査の実施時期は、当該工事の工程を考慮し施工上の重要な時点で行うものとし、契約締結後速やかに監督員と協議すること。</p> <p>◎中間検査が部分払検査と同時期になる場合は、中間検査を省略することができる。</p>								当初請負対象額	一般入札工事	低入札工事	3千万円未満	—	1回	3千万円以上5千万円未満	—	2回	5千万円以上1億円未満	1回	2回	1億円以上	2回	3回
当初請負対象額	一般入札工事	低入札工事																					
3千万円未満	—	1回																					
3千万円以上5千万円未満	—	2回																					
5千万円以上1億円未満	1回	2回																					
1億円以上	2回	3回																					
14. デジタル工事写真の小黒板情報電子化	<p>◎受注者は、デジタル工事写真の小黒板情報電子化の実施を希望する場合は、監督員の承諾を得たうえで、デジタル工事写真の小黒板情報電子化対象工事(以下、「対象工事」という)とすることができ。</p> <p>◎対象工事は、徳島県CALS/EOホームページ掲載の「デジタル工事写真の小黒板情報電子化の運用について(県土整備部)」に記載された全ての内容を適用することとする。</p>																						

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 R 2 宮繕 鳴門総合運動公園 鳴・撫養 屋外トイレ解体工事	●図面番号 D-01	一級建築士事務所 創和建築設計
		●図面名 解体特記仕様書 1	●縮尺 —	徳島市西府町花園76-3 Tel: 088-642-5062 一級建築士大臣登録 第90948号 鎌田 好康 Fax: 088-642-4257


項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項				
2章 解体 仮設 工事	1. ベンチマーク	◎設計GLの設定は、BM(±0)を±0とする。ただし、監督員の指示により決定する。	4章 建設 廃棄物 の 処理	◎解体前に照明器具及びトランス内進相コンデンサーのPCBの有無を調査し、有れば監督員の指示に従うこと。	5章 アス ベスト 含有 建材 の 除去 等	<p>(4) 受注者は、建設副産物が搬出される工事にあつては、建設発生土は建設発生土搬出調書、産業廃棄物は産業廃棄物管理票(マニフェスト)により、適正に処理されているか確認するとともに、監督員に建設発生土搬出調書(様式3)を提出しなければならない。なお、監督員等の指示があつた場合は直ちに産業廃棄物管理票の写しを提示しなければならない。</p> <p>◎受注者は、資源の有効な利用の促進に関する法律(以下「資源有効利用促進法」という。)に基づく建設業に属する事業を行う者の再生資源の利用に関する判断の基準となるべき事項を定める省令(H3.10.25建設省令第19号)第8条で規定される工事、又は建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)施行令第2条で規定される工事(以下「一定規模以上の工事」という。)において、コンクリート(二次製品を含む。)、土砂、砕石、加熱アスファルト混合物又は木材を工事現場に搬入する場合には、(一財)日本建設情報総合センターの建設副産物情報交換システム(以下「COBRIS」という。)により再生資源利用計画書を作成し、監督員の確認を受けなければならない。</p> <p>受注者は、資源有効利用促進法に基づく建設業に属する事業を行う者の指定副産物に係る再生資源の利用の促進に関する判断の基準となるべき事項を定める省令(H3.10.25建設省令第20号)第7条で規定される工事、又は一定規模以上の工事において、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物を工事現場から搬出する場合には、COBRISにより再生資源利用促進計画書を作成し、監督員の確認を受けなければならない。受注者は、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成した場合には、工事完了後速やかにCOBRISにより再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を作成し、監督員に提出しなければならない。受注者は、COBRISの入力において、資源の供給元及び搬出する副産物の搬出先について、その施設名、施設の種類の及び住所を必ず入力しなければならない。ただし、パーン材を使用する生コンクリート及び購入土を除くこととする。</p> <p>◎建設リサイクル法通知済証の提示 受注者は、建設リサイクル法に基づく対象建設工事(特定建設資材を用いた建築物に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であつて、その規模が建設リサイクル法施行令で定める基準以上のもの)においては、工事現場の公衆の見やすい場所に工事着手前までに「建設リサイクル法通知済証」を提示し、工事しゅん工検査が終了するまで存置しておかななければならない。また、「建設リサイクル法通知済証」掲示後の全景写真は電子納品の対象書類とし、「徳島県電子納品運用ガイドライン【建築工事編】」に基づき提出することとする。なお、「建設リサイクル法通知済証」は契約締結後から工事着手日までの期間に発注者から支給することとする。</p>			
	2. 足場等	◎仮設機材及び経年仮設機材の使用については、次の規格又は認定基準(以下「規格等」という。)に適合するものを使用すること。 ①労働安全衛生法に基づく構造規格 ②(社)仮設工業会の認定基準 また、厚生労働省の「経年仮設機材の管理指針」に基づく(社)仮設工業会の「適用工場制度」による登録工場及び指定工場等の活用が努めるとともに、前記規格等に定めるもの以外の使用に当たってはあらかじめ強度等を確認した書類を監督員に提出し、承諾を得ること。 ◎労働安全衛生法第88条に基づき、労働安全衛生規則別表第7に掲げる機械等(組立から解体までの期間が60日未満を除く。)の設置や移転、変更を行う場合は、30日前までに所轄労働基準監督署長に届け出をおこなうこと。 届け出をおこなった場合は、監督員に報告すること。 届け出不要の場合は、その旨監督員に報告すること。 ◎労働安全衛生法第88条に基づく届け出の要否に関わらず、足場を設置する場合は、使用開始前に蓄積課指定の足場チェックリストを用いて点検した後、監督員の確認を受けること。 ◎受注者は、高さが2m以上の箇所として作業を行う場合は、墜落防止に留意し、作業日毎に「墜落防止チェックシート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。 ◎外部足場(種類: 枠組み足場、仕様: 2枚布、D=90cm、シート仕様: 養生シートⅡ類) ・壁つなぎ間隔(水平方向: 8.0m以下、鉛直方向: 9.0m以下) ・足場を設置する場合は、原則として「手すり先行工法に関するガイドライン」(2.2.4)の別紙1「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式により行うこと。 ただし監督員の承諾を得た場合は、(3)手すり専用足場方式により行うことができる。 ◎仮囲いを設置する場合は、設置後に「蓄積課発注現場安全再確認シート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。 ◎仮囲い(仕様: 成形鋼板、H=2.0m、L=52.7m)(図示) ◎ゲート(有・無、仕様: キャスターゲート) ◎足場等の設置業者は、別契約の関係受注者に無償で使用させること。 ◎受注者は、つり足場(ゴンドラのつり足場を除く。)、張出し足場又は高さが5メートル以上の構造の足場の組立て、解体又は変更の作業において、材料、器具、工具等を用い、又はおろすときは、つり綱、つり袋等を労働者に使用させなければならない。また、作業主任者を選任し、その氏名、職務を掲示すること。 ◎その他 矢板工事 鋼矢板Ⅲ型 ・矢板長さ6.5m、圧入長さ6.0m以下、適応N値Nmax≤25		5. 構内舗装等			◎樹木等の伐採根及び移設方法() ◎舗装版切断に伴い発生する排水は汚泥に該当するため、関係法令等に基づき適正に処理すること。	1. 適用基準	◎図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官房管轄部監修の下記による。 ①公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 平成31年版(以下「改修仕」という。) ②公共建築改修工事標準仕様書(電気工事編) 平成31年版 ③公共建築改修工事標準仕様書(機械工事編) 平成31年版
	3. 仮設物	◎監督員事務所は(設ける(面積 m ² 程度) ・ 設けなし) ◎監督員事務所等の備品等は監督員の指示を受けて設置すること。		6. 地下埋設物 埋設配管等			◎解体範囲内の設備機器等の撤去も本工事に含むものとする。なお、電気、給排水、ガス管、空調配管、配線の有無を確認のうえ着手すること。	2. 一般事項	◎関係法令、都道府県の条例等を遵守すること。 ◎石綿ばく露防止対策等の実施内容を見やすい場所に掲示すること。 ◎事前の施工調査等を改修仕9.1(d)により行い、調査結果を監督員に提出すること。 ・ただし、分析によるアスベスト含有の調査は、JIS A 1481-1による。 ◎アスベスト粉塵濃度測定を行う(行わない)。 ・濃度測定は「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部: 光学顕微鏡法及び定電圧電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法による。 ・測定を行う場合、アスベスト除去工法の仕様による。 ・測定機関は、徳島労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 ・報告書を()部作成し監督員に提出すること。
	4. 工事用水、電力等	◎既存電力利用(出来る ・ 出来ない)、電料料金(有償 ・ 無償) ◎既存水利用(出来る ・ 出来ない)、用水料金(有償 ・ 無償) ◎電力引込負担金 円 ◎上下水引込負担金 円 ◎ガス引込負担金 円		7. 整地・埋戻し・盛土			◎埋戻しは、(購入土)・クラッシュラン ・ 再生クラッシュラン ・ 現場発生 ・ 他工事の現場発生土)とする。 ◎混入する石の最大径は mm程度とする。 ◎埋戻し高さは、GL± 0とする。 ◎整地範囲は図示による。	3. 77'スト含有成形板の除去	◎工法 (1) 除去は、アスベストを含まない内装材及び外部建具の撤去にきぎけて行うこと。 (2) 除去は、可能な限り破壊又は破断を伴わない方法で行うものとし、原則「手ばらし」とする。 建築物外部の成形板を除去する場合は、できる限り原形のまま除去すること。 (3) 除去作業中は、原則として散水その他の方法により、アスベスト成形板を常に湿潤な状態として作業を行う。 (4) 建物から取り外した廃材を原型のまま保管・運搬できるよう十分な大きさのフレキシブルコンテナバッグや車両を用意すること。 (5) やむを得ず破砕等が必要な場合は、石綿等の粉じんを飛散させないように十分な湿潤化を行うとともに、作業場所の外側に飛散させないための措置を講じること。
5. 工事車両駐車場 現場事務所用地等	◎同用地は、(図示の場所に ・ 用意して ない)で業者にて)設けること。 ◎借地借家料 円	8. 工事中の排水	◎トイレ解体建築物について ・排水先は敷地内の排水樹に放流すること。(浄化槽も同様とする)	6章 設 備 関 係	◎施工計画 (1) 工事着手前に施工計画書を監督員に提出し、承諾を受けること。 (2) アスベスト除去工事に係る官公署他への手続きを遅延なく行うこと。 ◎アスベスト含有建材の除去を直接行う専門工事業者については、工事に相応した技術を有することを証明する資料を、監督員に提出する。				
6. 仮設トイレの洋式化	◎受注者は当初請負対象金額(設計金額)1千万円以上7千万円未満の工事において、仮設トイレを設置する場合、原則として「洋式トイレ」を設置しなければならない。また、現場従事者に女性が含まれる場合は、原則として「女性専用トイレ(快適トイレ)」を設置しなければならない。 ただし、特段の理由がある場合はこの限りでない。 ◎受注者は、当初請負対象金額(設計金額)7千万円以上の工事において仮設トイレを設置する場合、原則として「快適トイレ」を設置しなければならない。また、現場従事者に女性が含まれる場合は、原則として「女性専用トイレ(快適トイレ)」を設置しなければならない。 ただし、特段の理由がある場合はこの限りでない。 ◎受注者は、仮設トイレを設置した場合、「仮設トイレ設置報告書」を監督員に提出しなければならない。 ○洋式トイレとは、和式トイレの便座部分を洋式化したトイレのこと。 ○快適トイレとは、洋式トイレのうち、防災対策・施設強化などが実施された、女性が利用しやすい仮設トイレのこと。	9. 墜落防止対策	◎2階以上の護壁のない開口部等から廃棄物の搬出作業を行う場合には、墜落防止の手すり等を設けること。 ◎手すり等を設けることが著しく困難なとき、又は、作業の必要上臨時に手すり等を取り外すときは、安全带を使用したままの状態での作業を行えるよう考慮し、作業員に安全帯の着用を徹底させること。		3. 77'スト含有成形板の除去	◎施工記録等 (1) 施工記録報告書を作成し、監督員に提出すること。			
3. 一般事項	◎建物の解体は順序よく行い、特に安全を期すこと。工事中に発生する粉塵については、散水等適当な方法により発生防止に努めること。 ◎解体の発生材の運搬計画及び通行道路の搬送計画について、関係機関と協議し、一般車両の通行に支障の無いように努めること。また、道路の汚染防止に努め、道路等を汚した場合は速やかに清掃すること。 ◎解体は全て分別解体により行い、次により工事写真を撮影すること。 (1) 内装材等をばぎ取った壁、天井、床の各面 (2) 内装材を分別して集積したところ(特にせつこうボードは他のボードと区別すること) (3) 積み込み状況(車のナンバープレートを書き込むこと) (4) 捨て場状況(車のナンバープレートを書き込むこと)	10. 浄化槽	◎汚水、汚物等の回収、洗浄、消毒等の措置(行う) ・ 行わない)		1. 設備機器類	◎調査分析の結果、PCBを含む恐れのある機種は、養生の上、調査を添えて引き渡すとする。 ◎空調機器の撤去・処分を行う場合は、フロン類冷媒について、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律に基づき回収及び破壊処理を行うこと。 ◎家電リサイクル法に該当する機器については、家電リサイクル法に基づき処理すること。			
4. 事前措置	◎本工事の着手時に、給排水、ガス管、地下埋設物等の調査を行う。調査期間は 1 週間とする。 切り直し時期については、工事着手時とする。 ◎解体前に大気汚染防止法に基づくアスベスト等の特定建築材料に該当するものが使用されていないか調査し、有れば監督員の指示に従うこと。								

	徳島県県土整備部管轄課	●工事名 R2管轄 鳴門総合運動公園 鳴・撫養 屋外トイレ解体工事	●図面番号 D-02	一級建築士事務所 創和建築設計 徳島県知事登録 第61073号 一級建築士大臣登録 第90948号 藤田 好康 徳島市面府町花岡76-3 Tel: 08-642-5062 Fax: 08-642-4257
		●図面名 解体特記仕様書2	●縮尺 —	



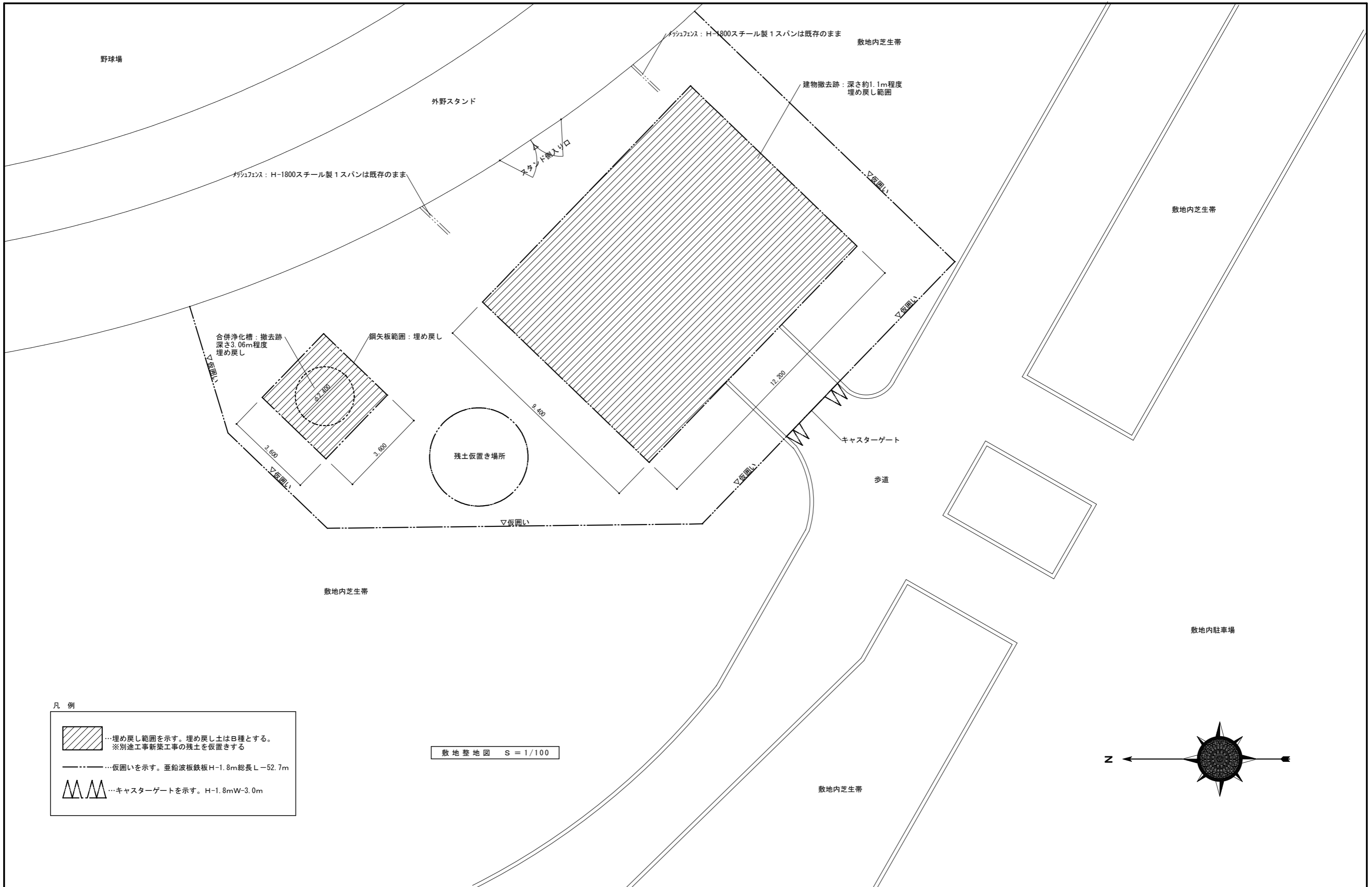
附近見取図

今回工事場所：鳴門市撫養町立岩
鳴門・大塚ビル1階内屋外化




凡例
 …今回解体建物を示す。

配置図 S=1/2000

徳島県土木整備部宮譜課 ●工事名 及び宮譜 鳴門総合運動公園 鳴・撫養 屋外トイレ解体工事 ●図面名 付近見取図・配置図	●図面番号 D-03 ●縮尺 1/2000	一級建築士事務所 創和建築設計 徳島県知事登録 第61073号 一級建築士大臣登録 第90948号 鎌田 好康 徳島市南府町花園76-3 Tel: 088-642-5062 Fax: 088-642-4257
--	--------------------------	--

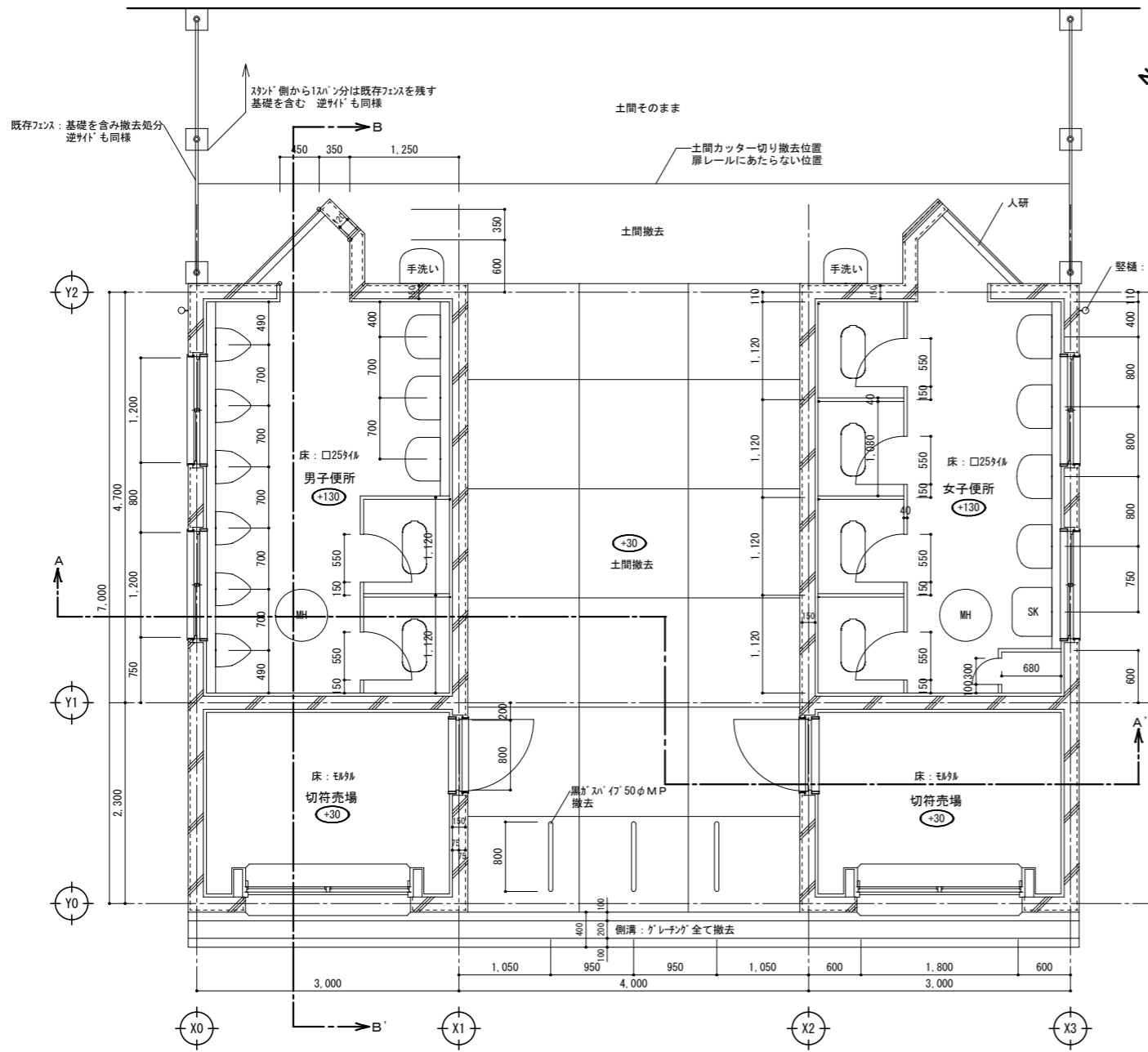


凡例

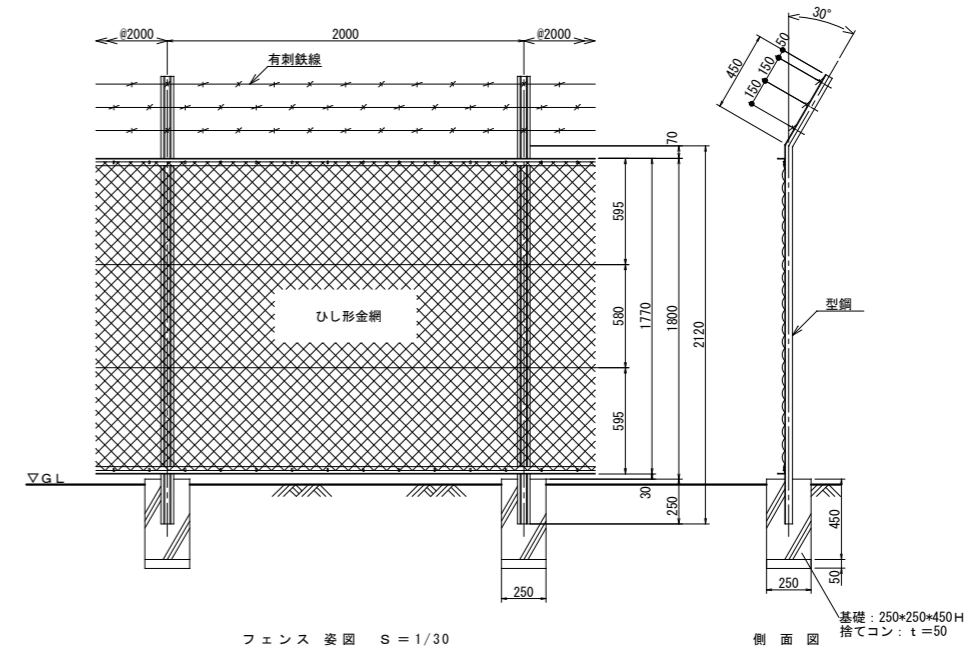
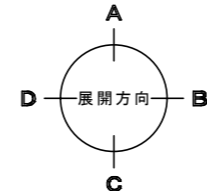
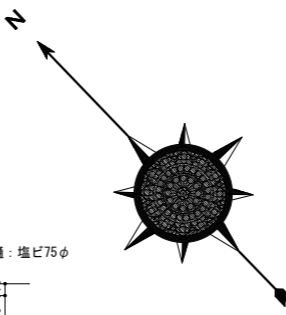
-  ...埋め戻し範囲を示す。埋め戻し土はB種とする。
※別途工事新築工事の残土を仮置きする
-  ...仮囲いを示す。亜鉛波板鉄板H-1.8m総長L-52.7m
-  ...カスターゲートを示す。H-1.8mW-3.0m

敷地整地図 S = 1/100

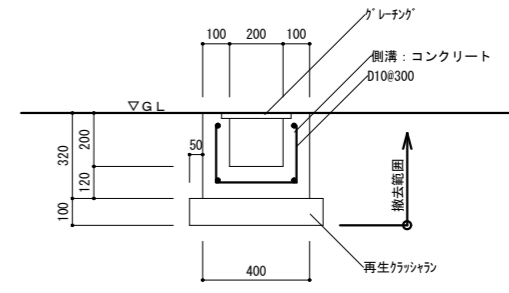
徳島県県土整備部営繕課	●工事名 R2 営繕 鳴門総合運動公園 鳴・撫養 屋外トイレ解体工事	●図面番号 D-05	一級建築士事務所 創和建築設計 徳島県知事登録 第61073号 一級建築士大臣登録 第90948号 鎌田 好康
	●図面名 敷地整地図	●縮尺 1/100	徳島市面府町花園76-3 Tel : 088-642-5062 Fax : 088-642-4257



平面図 S=1/50



フェンス 断面 S=1/30



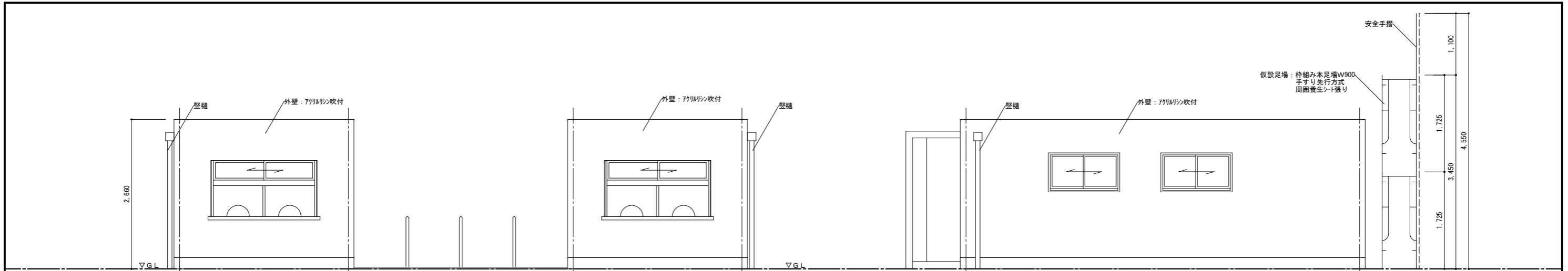
側溝断面図 S=1/20

外部仕上表

位置	外部仕上	位置	外部仕上	位置	外部仕上
屋根	モルタル防水責任施工-MW	ドレン	横引きルーフトレン		
パラペット	モルタル防水責任施工 コーキング充填	ポーチ	コンクリート打設の上モルタル塗り仕上げ		
外壁	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上アクリル系リシン吹付-A L	歩道床	カラーアスファルト舗装		
巾木	モルタル金コテH=200				
縦樋	塩ビ75φ垂れ流し				

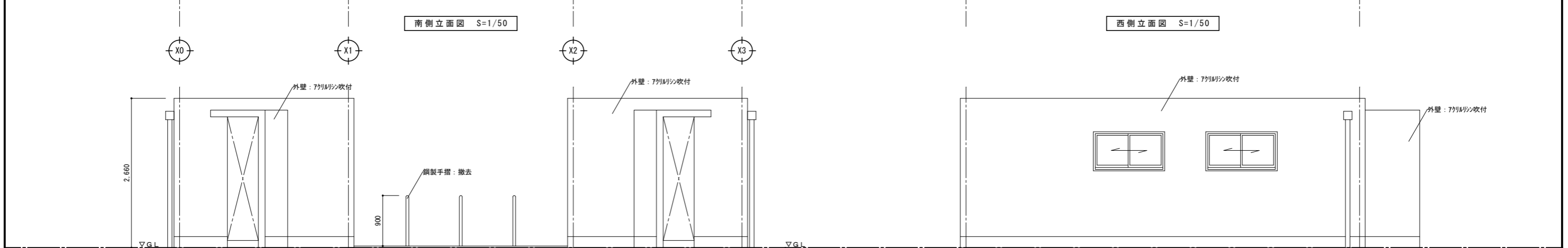
内装仕上表

階	室名	床		巾木	H	壁		天井		備考
		下地	仕上げ			腰壁仕上げ	上部壁仕上げ	仕上げ	C H	
1階	屋外便所	モルタル	□-25磁器モザイクタイル 防水: 珪砂防水責任施工	—	—	□-100半磁器タイル	プaster塗	コンクリート打放し下地のアクリル系リシン吹付	2.300	スクリーン、ビット、男女サイン (アクリル製)
	切符売り場	モルタル	モルタル金銀目地切	モルタル	100		モルタル金銀EP	ひる石吹付	2.200	カウンター、シャッター廻り



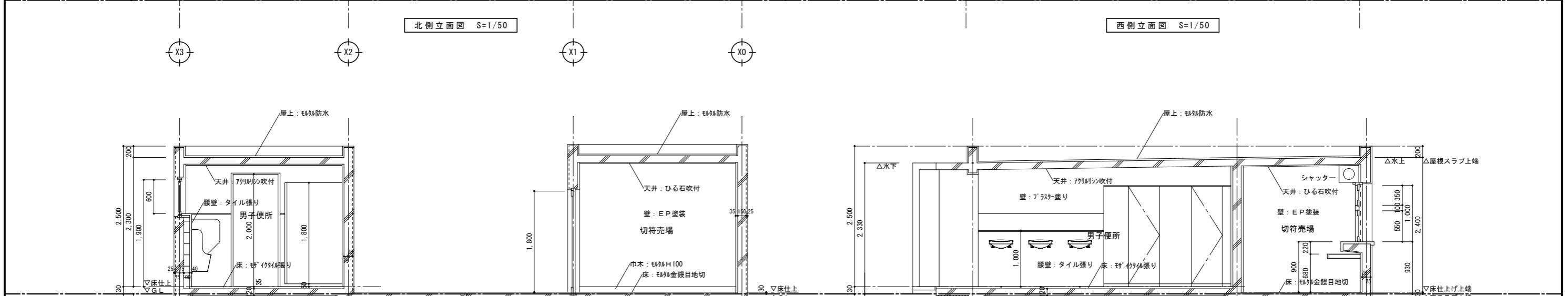
南側立面図 S=1/50

西側立面図 S=1/50



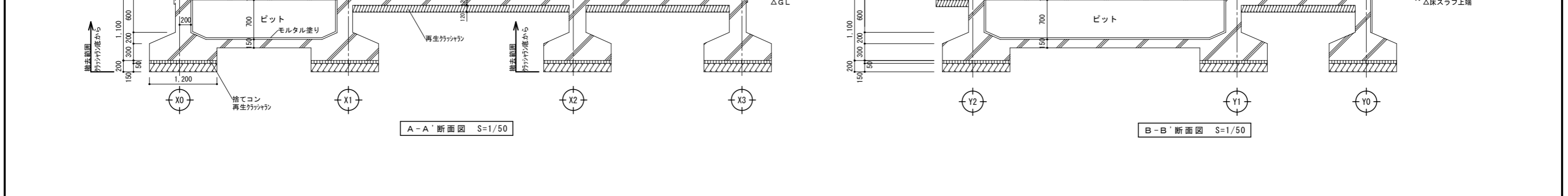
北側立面図 S=1/50

西側立面図 S=1/50

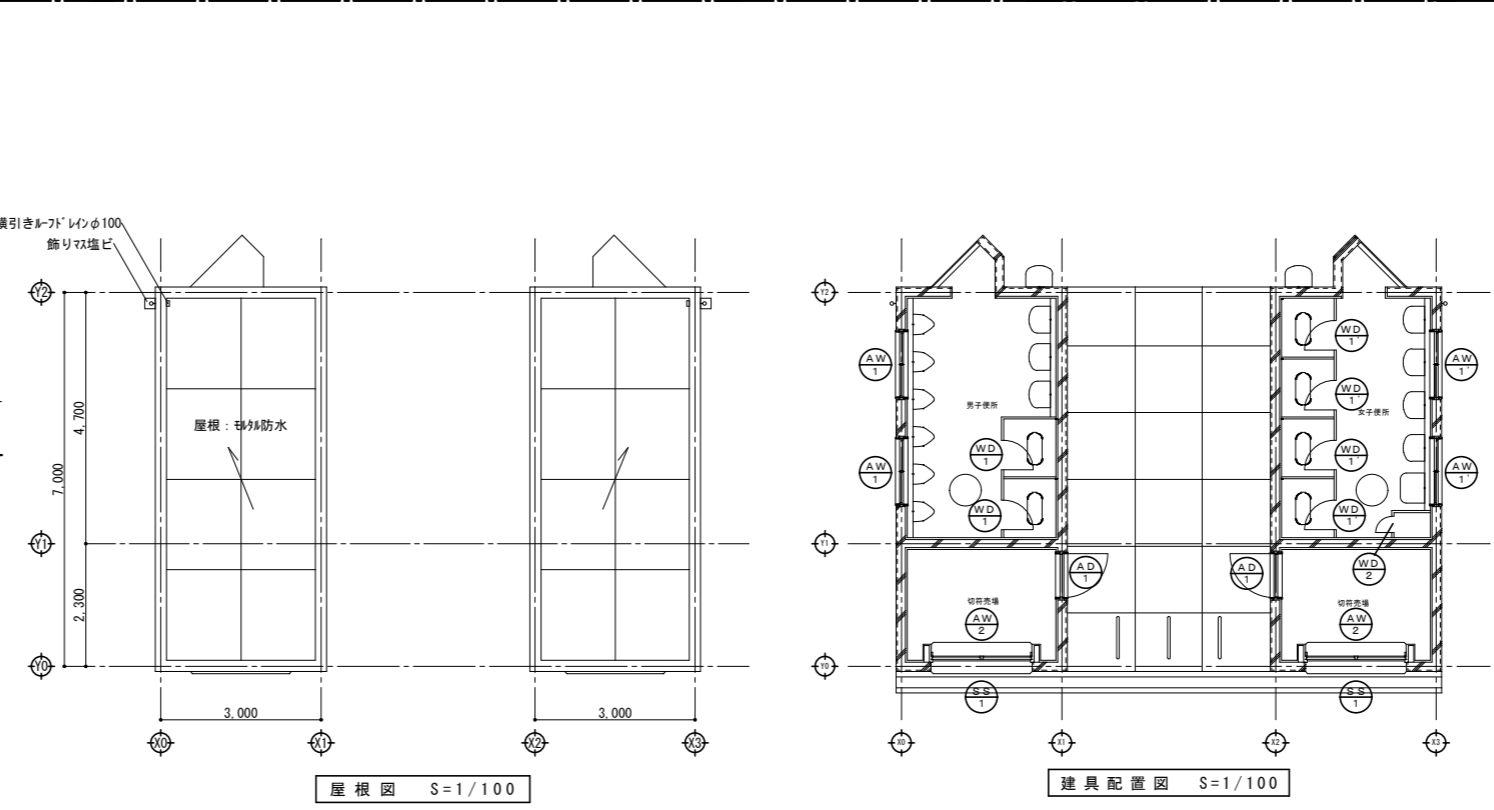
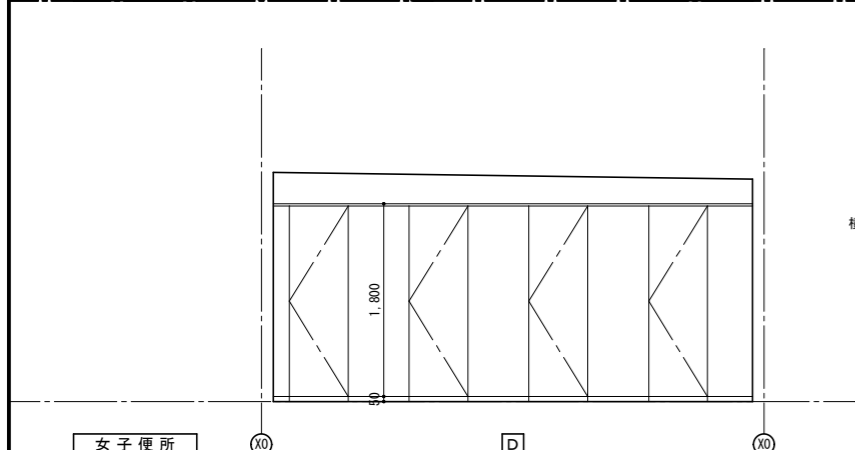
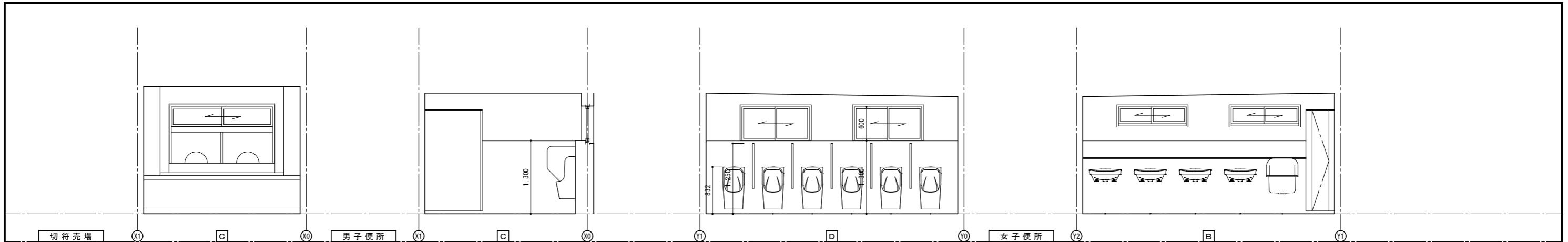


A-A'断面図 S=1/50

B-B'断面図 S=1/50

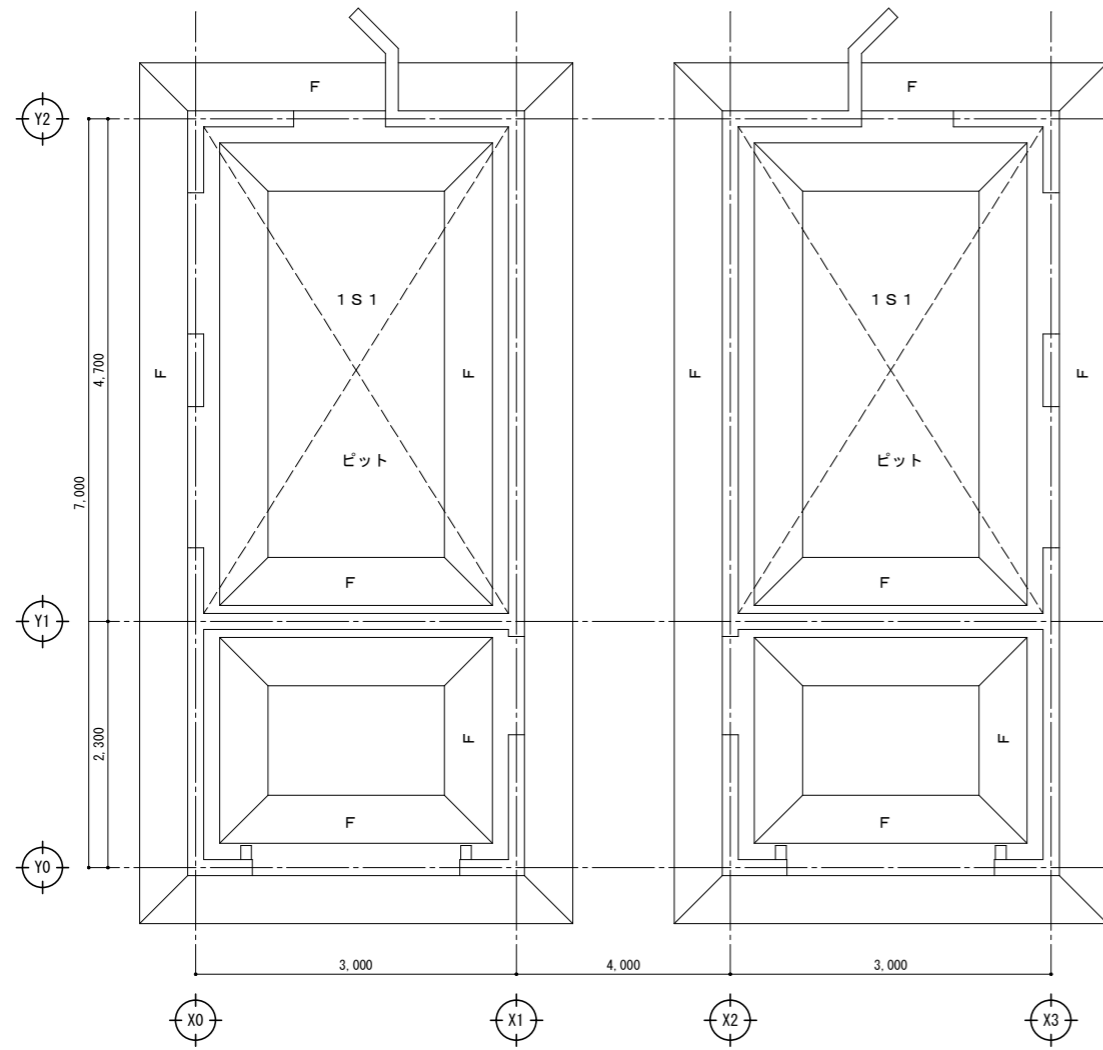


<p>※解体範囲は土間コも含め建物全て撤去・処分とする。</p> <p>※断面の撤去範囲はクラッシュランまでとする。(図示)</p>	<p>徳島県土木整備部営繕課</p>	<p>●工事名 R2宮崎 鳴門総合運動公園 鳴・撫養 屋外トイレ解体工事</p> <p>●図面名 立面図・断面図</p>	<p>●図面番号 D-07</p> <p>●縮尺 1/50</p>	<p>一級建築士事務所 創和建築設計</p> <p>徳島県知事登録 第61073号 一級建築士大臣登録 第90948号 鎌田 好康</p> <p>徳島市面府町花園76-3 Tel: 088-642-5062 Fax: 088-642-4257</p>
--	--------------------	--	-----------------------------------	---

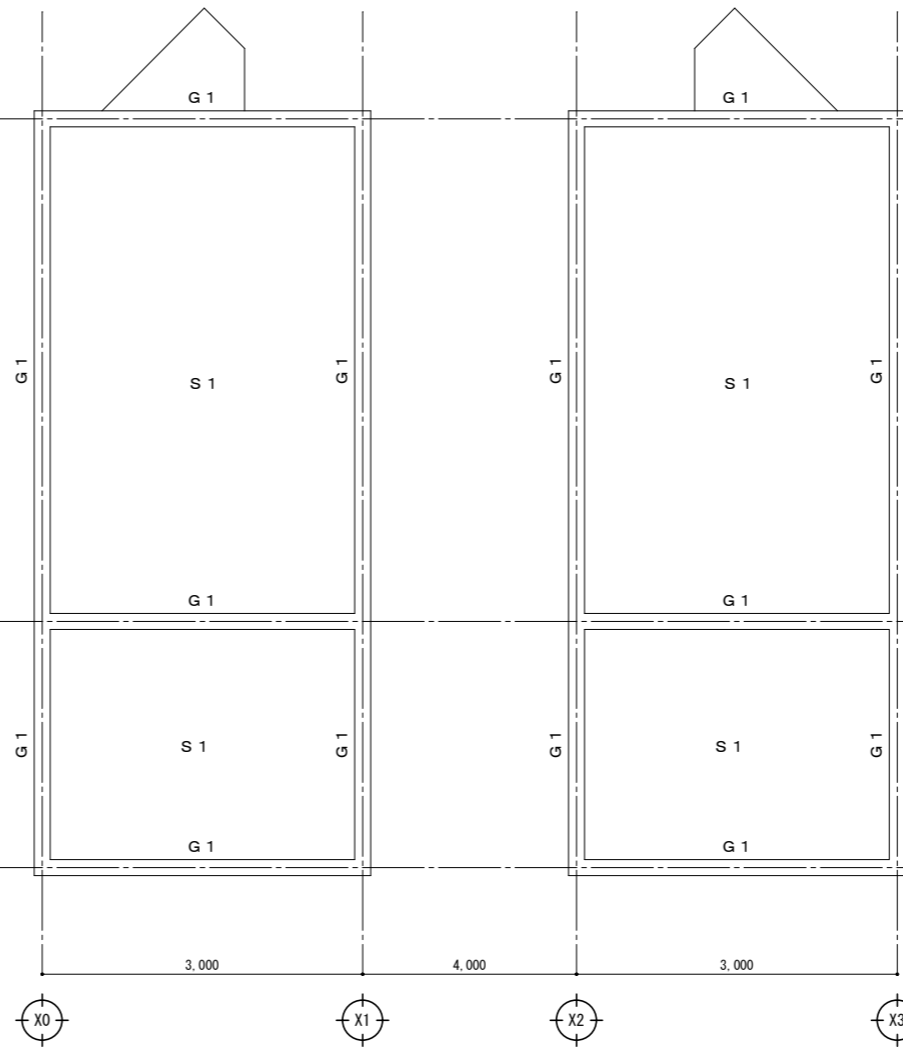


符号	形式	AD-1	片開き戸
姿 撤 去			
場所	数量	切符売場	2
材質		アルミ	
仕上		無色アルミライト	
塗装			
見込	ガラス	枠60、戸30	上段：網入6.8、下段：パシ
付属金物		付属金物一式	
備考			

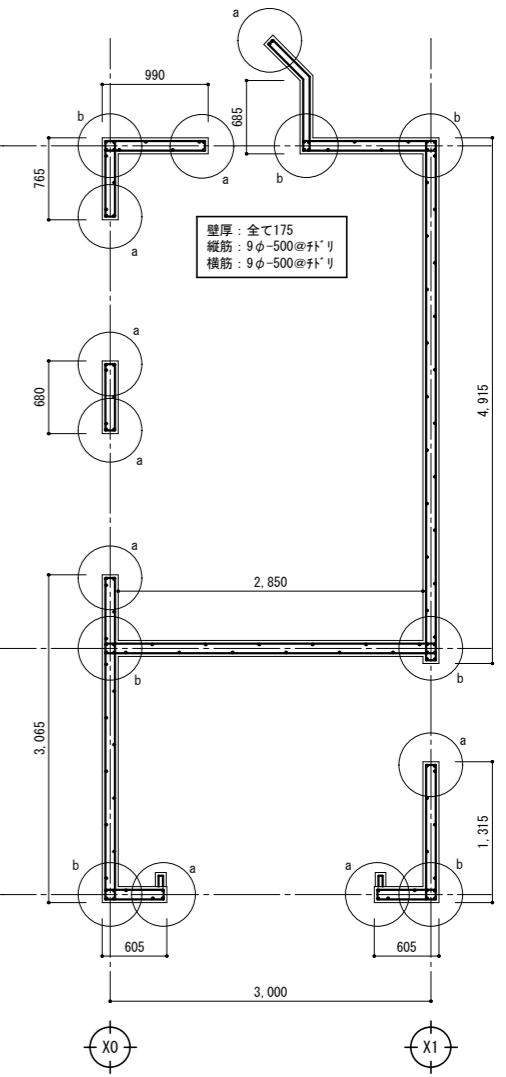
符号	形式	AW-1, AW-1'	引違い戸 ()内はAW-1'	AW-2	組み合わせ窓	SS-1	軽量シャッター	WD-1, WD-1'	便所スクリーン WD-1は男子便所、WD-1'は女子便所	WD-2	便所スクリーン
姿 撤 去											
場所	数量	男子便所・女子便所	2 (2)	切符売場	2	切符売場	2	男子便所、女子便所	1 (1)	女子便所	1
材質		アルミ		アルミ		スチール		木製ペーパーコア		木製ペーパーコア	
仕上		無色アルミライト		無色アルミライト		マリンペイント		シナベニヤ		シナベニヤ	
塗装											
見込	ガラス	60	網入6.8	70	上段：枠63.0、下段：77mm板6.0	30		40		40	
付属金物		付属金物一式		付属金物一式、77mm板パシが入り		付属金物一式、まぐさ・ガイドレールはステンレス		付属金物一式、笠木・柱脚金物はステンレス		付属金物一式、笠木・柱脚金物はステンレス	
備考											



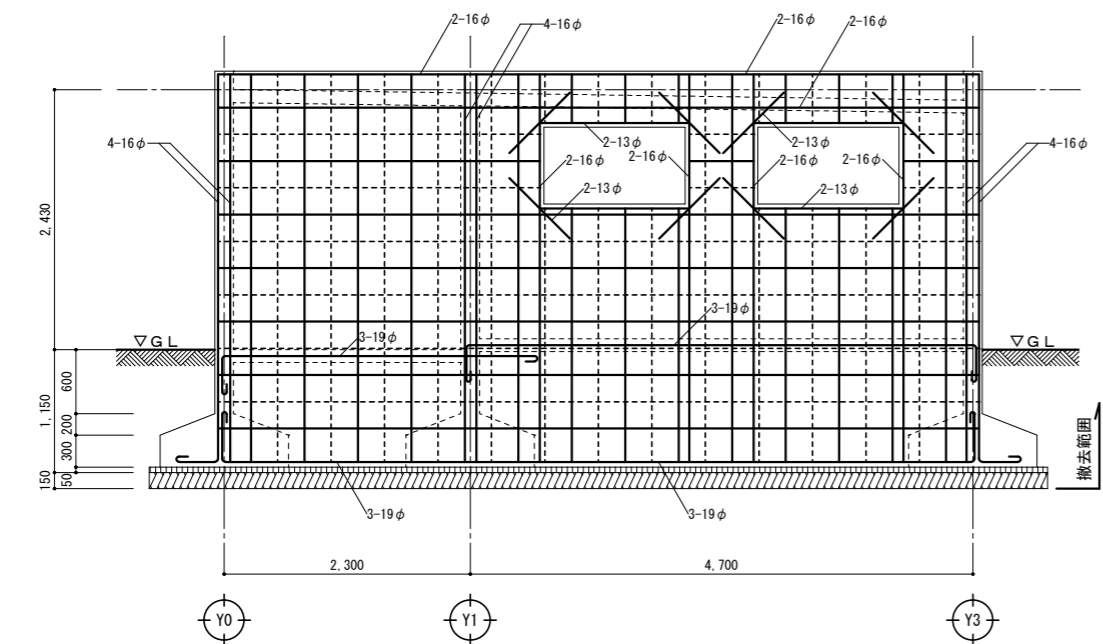
基礎伏図 S=1/50



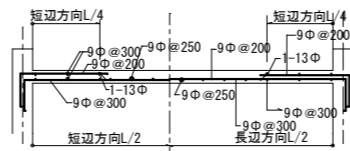
梁伏図 S=1/50



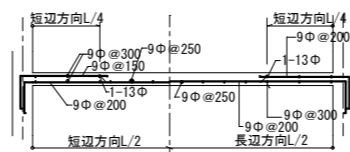
梁伏図 S=1/50



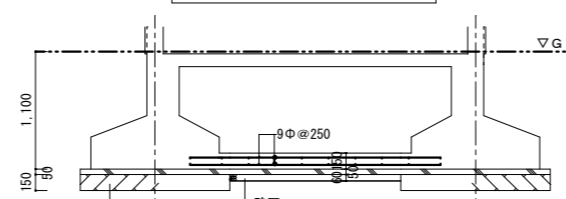
壁配筋図 S=1/50



S1 ｽﾗﾌﾞ配筋図 S=1/50



1S1 ｽﾗﾌﾞ配筋図 S=1/50



ピット下部ｽﾗﾌﾞ配筋図 S=1/50

配筋リスト S=1/50

符号	F	G 1	a部分	b部分
断面				
上端筋	3-19φ	2-16φ		
下端筋	3-19φ	2-16φ		
腹筋	3-9φ	-		
S.T.	9φ-250@	9φ-250@		

配筋リスト S=1/30

仕様: コンクリート $F_c=180 \text{ kg/cm}^2$

鉄筋 SR24

徳島県土木整備部営繕課

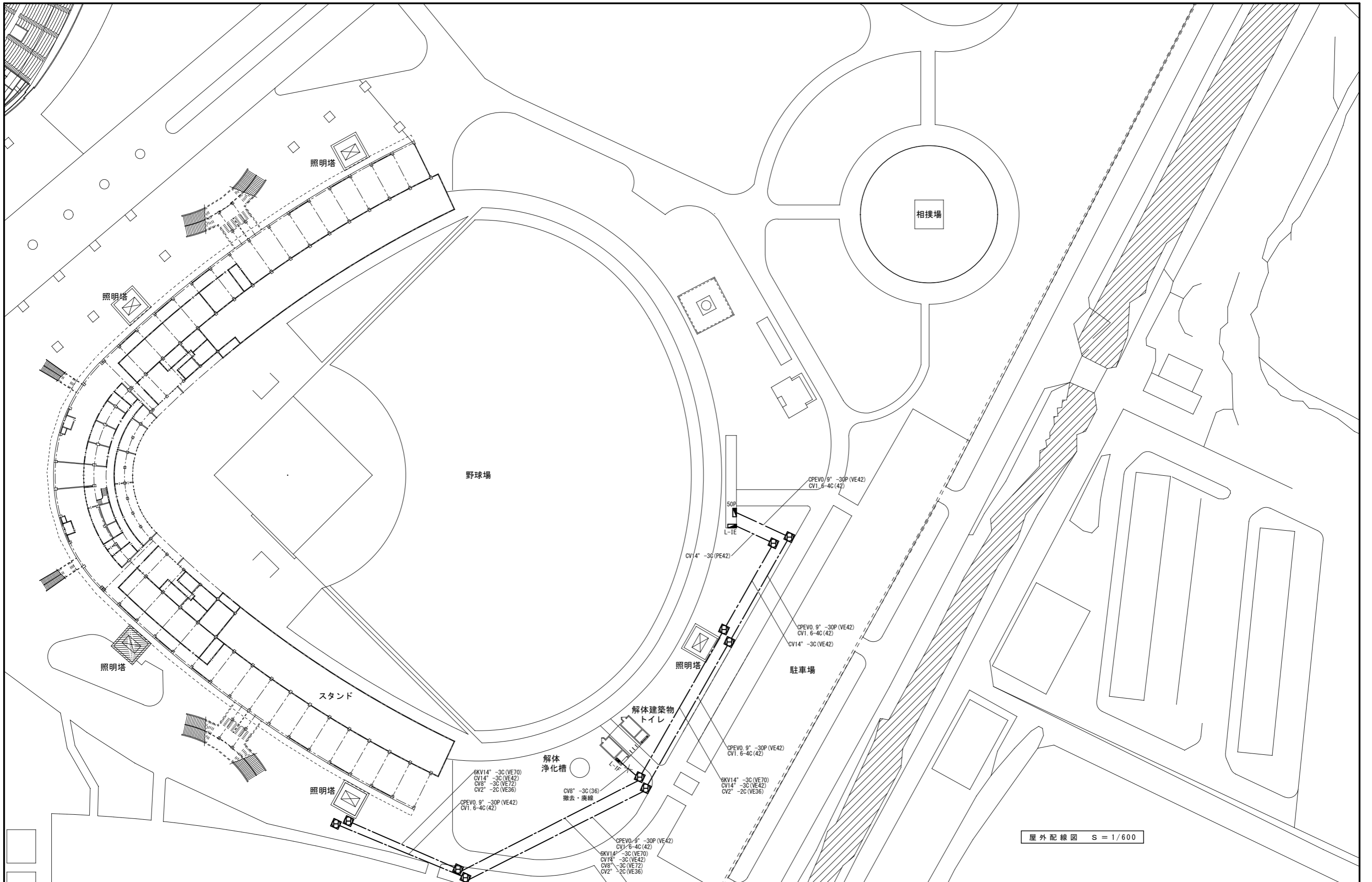
●工事名 R2宮線 鳴門総合運動公園 鳴・撫養
屋外トイレ解体工事

●図面番号 D-09

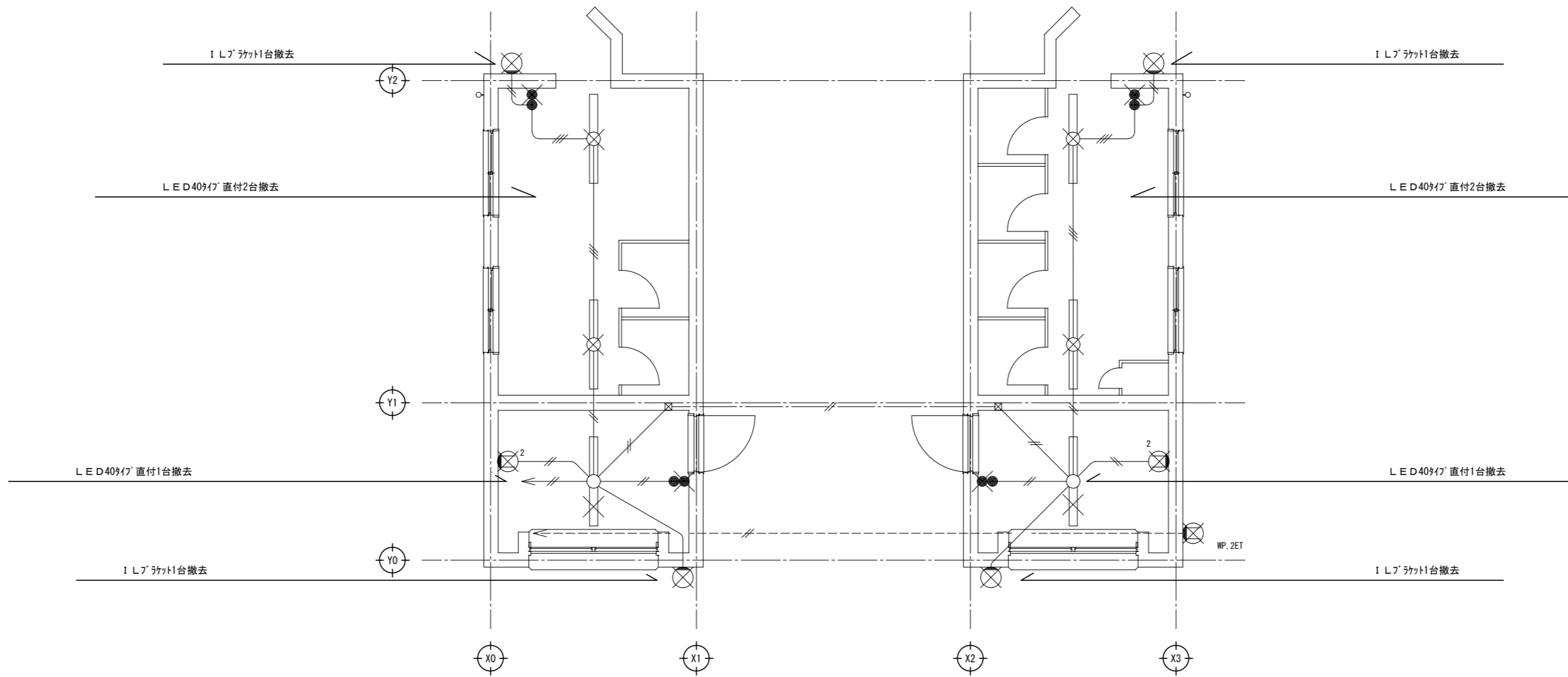
●図面名
梁伏図・配筋図

●縮尺
1/30 1/50

一級建築士事務所
創和建築設計
徳島県知事登録 第61073号
一級建築士大臣登録 第90948号 鎌田 好康
徳島市南府町花園76-3
Tel: 088-642-5062
Fax: 088-642-4257

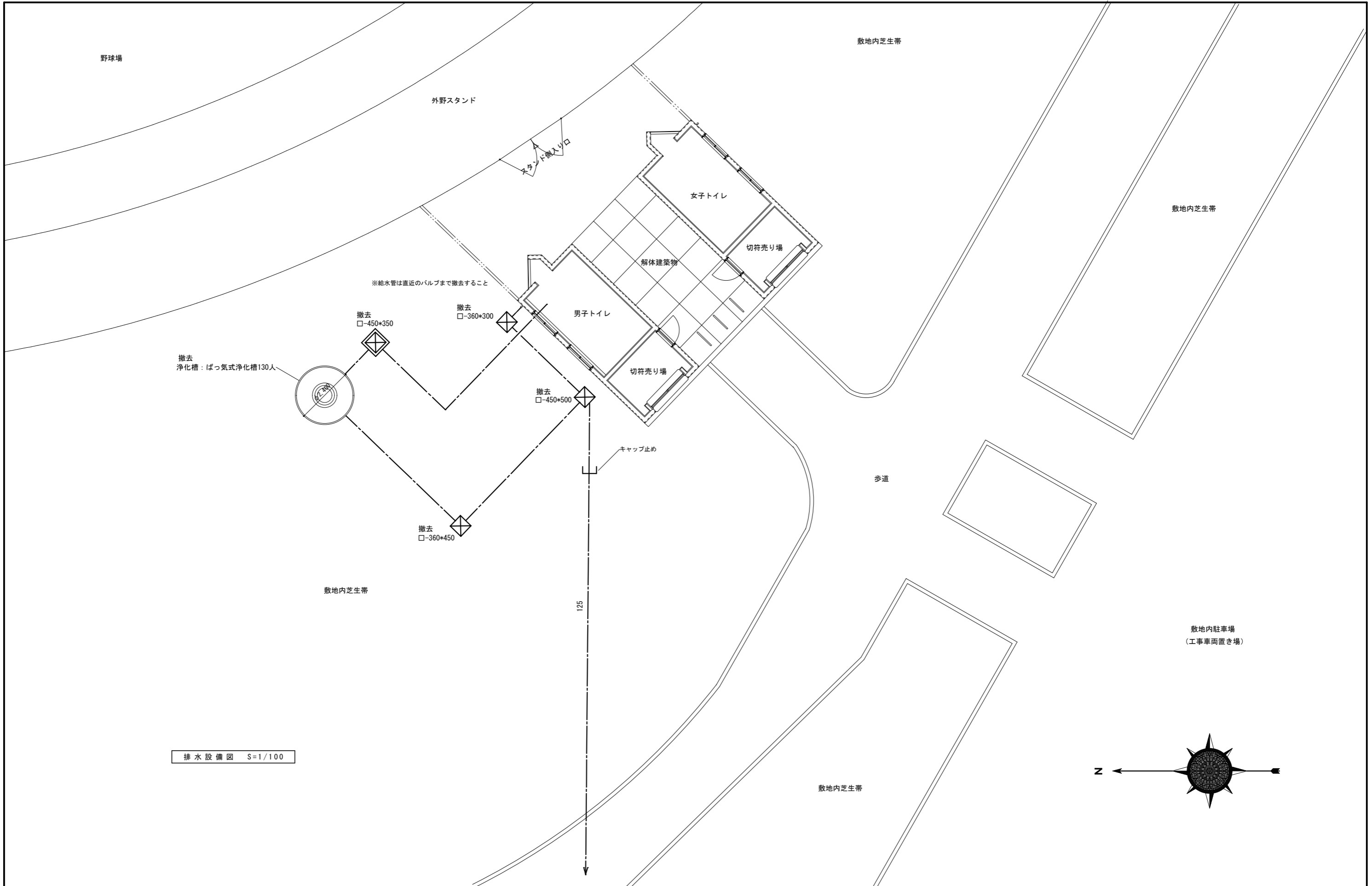


徳島県県土整備部営繕課	●工事名 R2宮崎 鳴門総合運動公園 鳴・撫養 屋外トイレ解体工事	●図面番号 E-01	一級建築士事務所 創和建築設計 徳島県知事登録 第61073号 一級建築士大臣登録 第90948号 藤田 好康 徳島市面府町花園76-3 Tel: 088-642-5062 Fax: 088-642-4257
	●図面名 屋外配線図	●縮尺 1/600	



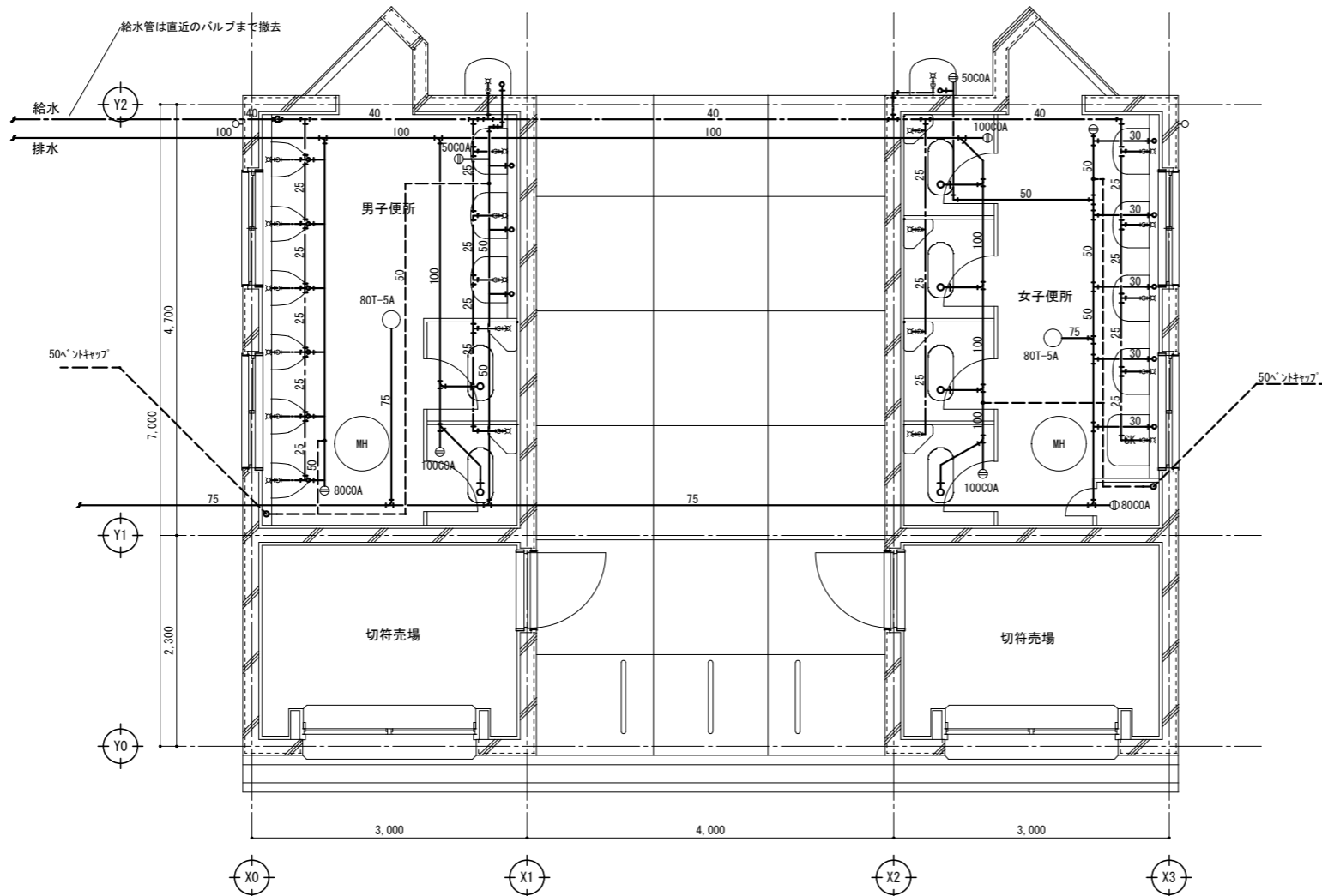
電灯コンセント撤去図 S = 1/50

<p>徳島県県土整備部営繕課</p>	<p>●工事名 R2宮脇 鳴門総合運動公園 鳴・撫養 屋外トイレ解体工事</p> <p>●図面名 電灯コンセント撤去図</p>	<p>●図面番号 E-02</p> <p>●縮尺 1/50</p>	<p>一級建築士事務所 創和建築設計</p> <p>徳島県知事登録 第61073号 一級建築士大臣登録 第90948号 藤田 好康</p> <p>徳島市西府町花園76-3 Tel : 088-642-5062 Fax : 088-642-4257</p>
--------------------	---	-----------------------------------	---



排水設備図 S=1/100

<p>徳島県県土整備部営繕課</p>	<p>●工事名 R2営繕 鳴門総合運動公園 鳴・撫養 屋外トイレ解体工事</p> <p>●図面名 屋外排水設備撤去図</p>	<p>●図面番号 M-01</p> <p>●縮尺 1/100</p>	<p>一級建築士事務所 創和建築設計</p> <p>徳島県知事登録 第61073号 一級建築士大臣登録 第90948号 藤田 好康</p> <p>徳島市面府町花園76-3 Tel: 088-642-5062 Fax: 088-642-4257</p>
--------------------	--	------------------------------------	---

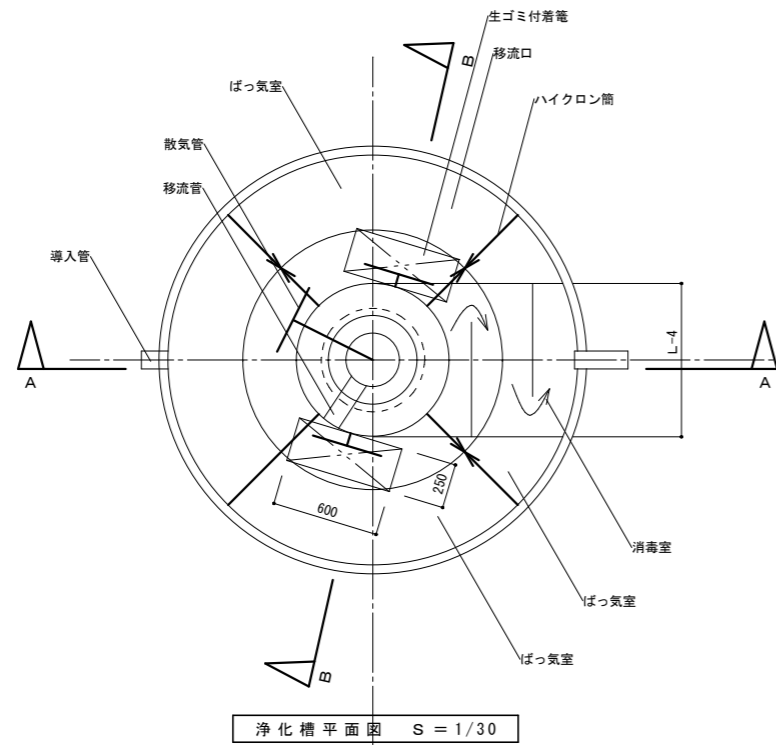


衛生器具表

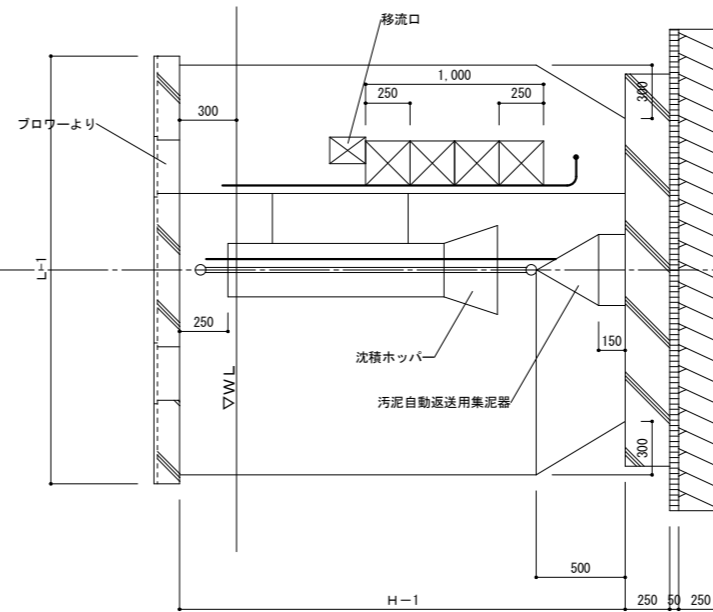
名称	器具名	型式	数量	備考
男子便所	和風大便器	VC-311	2	付属品を含み撤去・処分
	小便器	VU-220	6	同上
	洗面器	VL-630	3	同上
	床排水金物	T-5A-80	1	同上
女子便所	和風大便器	VC-311	4	同上
	洗面器	VL-630	4	同上
	掃除用流し	VS-110	1	同上
	床排水金物	T-5A-80	1	同上
その他	水飲器	S-45	2	同上
	バキュームブレーカ	TV-1	6	同上

マンホールφ600は全て撤去とすること。

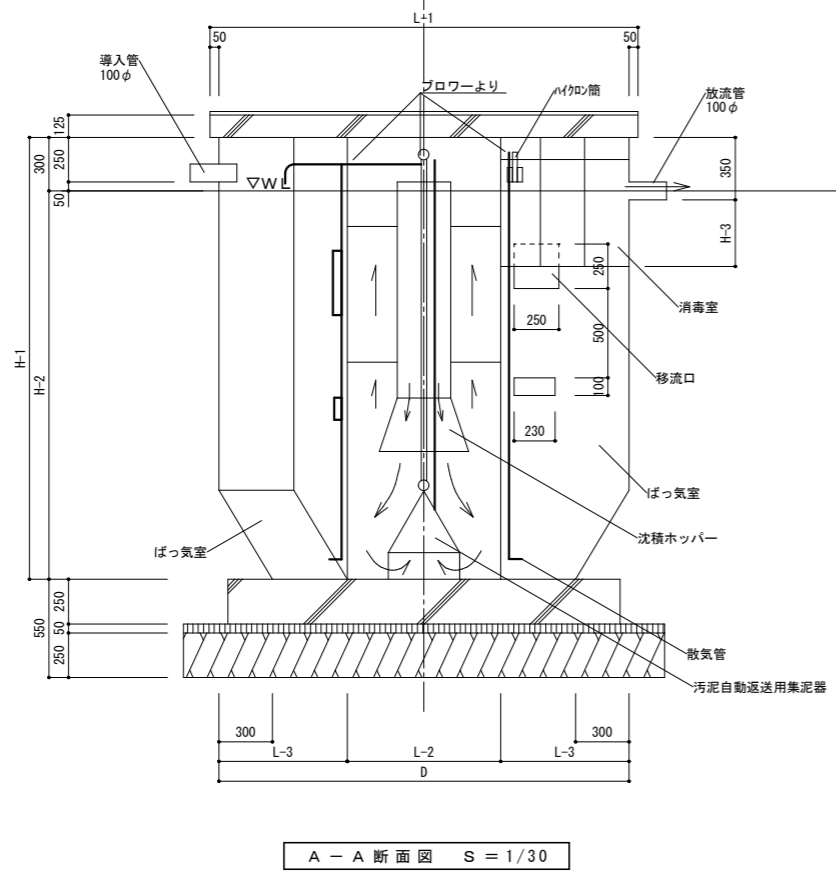
平面図 S=1/50



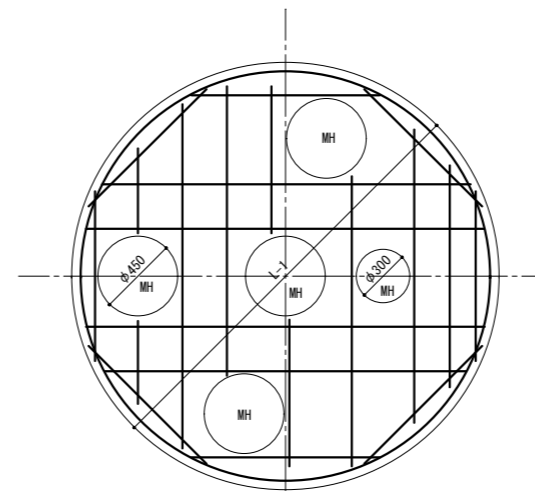
浄化槽平面図 S = 1/30



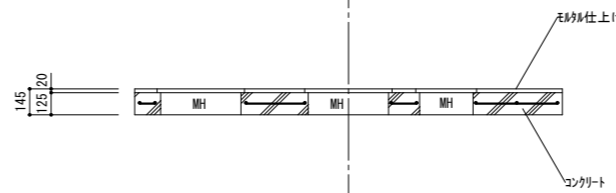
B - B 断面図 S = 1/30



A - A 断面図 S = 1/30

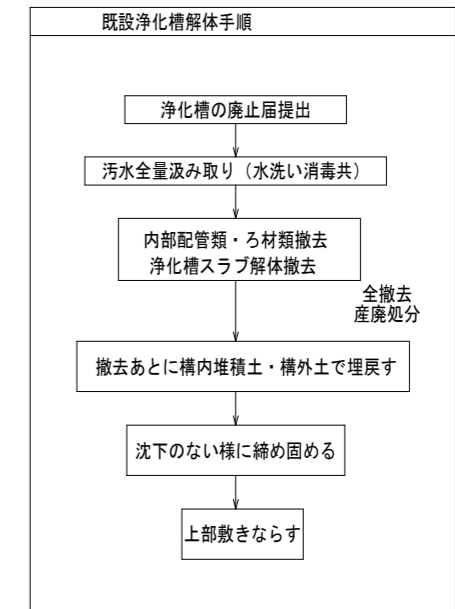


スラブ平面図 S = 1/30



スラブ断面図 S = 1/30

(詳細は下記による。)



本 体	F R P
補 強 材	F R P
導 入 管	V P
放 流 管	V P
散 気 管	V P
生ゴミ付着電	樹脂製
ハイクロン筒	V P
ス ラ ブ	F R P

D X	D	L-1	H-1	H-2	H-3	L-2	L-3	L-4	R-1
130	2300	2400	2500	2200	374	860	720	500	600

※プロワーはFD-19型100V-200W仕様のこと